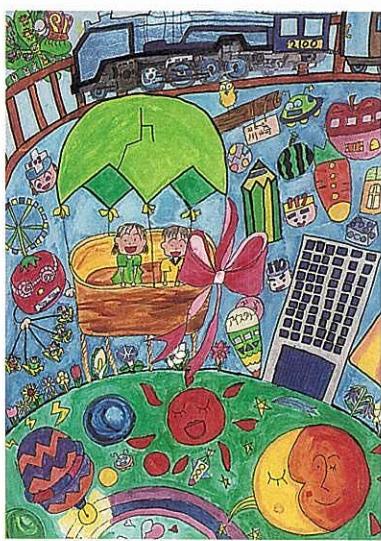


実行計画

第5章 施策展開にあたって



21(トゥエンティーワン) 神奈川

21世紀の神奈川を夢見てかきました。

川崎市立千代ヶ丘小学校 第6学年
寺西 綾 (てらにし あや)

(「21世紀 (あす) の神奈川」 絵と作文コンクールから)

1 計画の推進にあたって

●施策の総合化・地域化

県民ニーズを的確にとらえ、行政サービスの総合化を図ります。また、施策の展開にあたっては、地域の個性や課題にそった取組みを進めるとともに、本県の特性や果たすべき役割を踏まえ、神奈川らしい取組みに努めます。

●公・共・私の役割分担

地方分権の具体化の動き、県民の社会参加活動の高まりや規制緩和等による民間の活動領域の拡大など、公・共・私の役割が変化しています。特に地域社会において、環境や福祉分野など、様々な市民活動が活発となっており、新たな社会的役割を担うようになっていきます。こうしたことから、県の施策と市町村、国、企業、市民活動団体など、それぞれの役割と個性を生かした新たな連携による施策展開を図ります。

●地域の主体性の強化

計画の円滑な推進と県民、市町村、県などが主体となった地域づくりができるよう、国の政策や制度、行財政システムの見直しを働きかけていきます。

●簡素で効率的な行政運営

計画の着実な推進を図るため、施策・事業の効果的、効率的な展開、組織・執行体制の見直し、職員の適正配置、人材育成等、簡素で効率的な行政運営に努めます。

●広域課題への対応

県民の生活行動や経済活動の領域が拡大し、広域的かつ重層的になってきていることから、身近な課題については、関係する市町村が連携して取り組みます。こうした中で県は、市町村域を越えた政策課題への対応や、首都圏全体を視野において、東京、山梨、静岡、千葉など隣接都県との交流や地域政策圏の連携を重視した広域的な施策展開を図ります。

●計画の環境変化への対応

計画の実行性の確保と、県民ニーズに的確に対応するため、財政収支の見通しを立てるとともに、計画に位置づけた施策の重点的、柔軟な推進を図ります。

また、計画の推進にあたって、社会経済状況の変化に柔軟に対応するため、ローリングシステムを導入し、定期的な計画の見直しを行います。

2 個別計画の位置づけ

県政をより総合的、効果的に推進するためには、県政の特定の政策課題をとらえ、総合化の観点（IからVIIまでの分野をまたいで、ある特定の課題について、横断的、総合的に施策を展開する）や計画実行性の観点（より具体的、計画的に施策を展開する）から、重点的に取り組んでいくことが必要です。

このことから、総合計画を補完するものとして、特定の政策課題に対応した個別計画を策定し、社会経済情勢の変化に柔軟に対応していきます。

各個別計画の基本方向や主な施策については、総合計画の主要な政策分野に位置づけられています。

総合計画の推進と合わせて、これらの個別計画の推進を図ることにより、特定の政策課題に対する柔軟で重点的な施策展開や効果的でわかりやすい行政の一層の推進を図ります。

●総合計画を支える主な個別計画

個別計画名	概要	総合計画での政策分野
●かながわ福祉推進計画 (1996年度策定)	福祉を取り巻く環境の変化に対応し、地域福祉の新たな展開を図るため、福祉政策がめざすべき方向や具体的な施策などを示し、福祉を総合的に推進するための福祉分野の基幹的な計画です。	I 健やかな福祉社会をめざして (関連分野) 教育、まちづくり、労働等
●かながわ高齢者保健福祉計画 (1993年度策定)	誰もが高齢になっても身近な地域で安心してくらせる社会をめざし、必要な施設、人材の目標量等を定めた市町村計画を集約するとともに、その実現に向けた支援方策等を定めた福祉分野での対象者別の計画です。	I 健やかな福祉社会をめざして (関連分野) 教育、まちづくり、労働等
●第二次障害福祉長期行動計画 (1994年度改定)	障害者の社会への「完全参加と平等」の理念のもとに、すべての人がより豊かに生きる社会を実現するために、障害福祉の基本理念、施策の基本方向、具体的な施策展開等を定めた福祉分野での対象者別の計画です。	I 健やかな福祉社会をめざして (関連分野) 教育、まちづくり、労働等
●かながわ子ども未来計画 (1996年度策定)	「子どもの最善の利益の尊重」を基本的な視点とし、子どもたちの健やかな成長を支援するための推進方向等を定めた福祉分野での対象者別の計画です。	I 健やかな福祉社会をめざして (関連分野) 教育、労働、女性等
●神奈川県保健医療計画 (1996年度改定)	高齢化の進展や疾病構造の変化、医学の進歩等による保健医療を取り巻く環境を踏まえ、いつでも、どこでも、誰でも、適切な保健・医療サービスを受けられ、健康で生きがいを持ちくらせる社会づくりをめざす計画です。	I 健やかな福祉社会をめざして
●かながわ青少年プラン21 (1996年度策定)	21世紀を担う神奈川の青少年が、たくましく“生きぬく力”と他者を思いやる“共感する心”を自ら育んでいくような育成環境づくりをめざし、基本方向や施策展開等を定めた計画です。	II 彩り豊かな生活をめざして (関連分野) 福祉、科学技術、国際、ボランティア等

第2章 環境基本計画

個別計画名	概 要	総合計画での政策分野
●神奈川県環境基本計画 (1996年度策定)	「環境保全型社会かながわ」の実現に向けて、環境の保全と創造に関する長期的な方向性を明らかにするとともに、具体的な施策展開や達成目標、環境資源利用にあたっての配慮指針等を示した環境分野での基幹的な計画です。	Ⅲ環境との共生をめざして (関連分野) 消費生活、まちづくり、産業、国際、ボランティア等
●かながわ新みどり計画 (1996年度策定)	都市化の進展に伴うみどりの減少やみどりに対する認識の高まりを踏まえ、神奈川におけるみどりの量と質の確保をめざし、その保全と創造に向けた基本方向や施策展開等を定めたみどりに関する総合的な計画です。	Ⅲ環境との共生をめざして (関連分野) まちづくり、産業等
●かながわ都市マスター プラン (1996年度改定)	21世紀初頭における望ましい神奈川の都市の姿を描き、その実現に向けた基本方向を広域的視点から明らかにするとともに、重点的に進めるプロジェクトや土地利用、社会資本整備、市街地整備の各方針等を定めた都市整備の分野での基幹的な計画です。	Ⅳ安全で魅力ある都市をめざして
●かながわ交通計画 (1996年度改定)	神奈川における望ましい総合都市交通体系を形成するための基本方向や施策展開等を定めた計画であり、都市整備の分野のうち、交通施設整備に関する部門別計画です。	Ⅳ安全で魅力ある都市をめざして
●かながわ住宅計画 (1996年度改定)	少子・高齢化の進展や県民意識の多様化を踏まえ、豊かで安全でゆとりある住まい・まちづくりを推進するための基本方向や施策展開等を定めた計画であり、都市整備分野のうち住宅整備に関する部門別計画です。	Ⅳ安全で魅力ある都市をめざして

●総合計画を支える主な個別計画

個別計画名	概要	総合計画での政策分野
●湘南なぎさプラン (1985年度策定・ 1996年度実施計 画改定)	豊かなみどりと美しいなぎさが生かされた快適 でごしやすい海岸文化ゾーンの実現に向けて、 湘南海岸地域におけるみどりとなぎさの保全、 防災対策や道路整備等生活環境の向上、海岸文 化の創造をめざす計画です。	IV 安全で魅力ある都市を めざして
●いきいき未来相模川ブ ラン (1986年度策定・ 1996年度実施計 画改定)	相模川流域において、環境と共生した活力と魅 力ある都市圏を創造するため、優れた自然環境 の保全と創造、快適な生活環境の確保と活力あ るまちづくり、歴史的・文化的遺産の保全と沿 岸文化の創造をめざす計画です。	IV 安全で魅力ある都市を めざして
●やまなみ五湖ネット ワーク計画 (1989年度策定)	水源地である津久井、丹沢等のやまなみ地域に おいて、豊かな自然環境を保全するとともに、 「人と自然」、「都市と地域」の交流の場づくり等 により地域の振興を図りながら、「やまなみ文化 の創造」をめざす計画です。	IV 安全で魅力ある都市を めざして
●神奈川県地域防災計 画 (1995年度改定)	地震や風水害等の災害に強い県土づくりをめざ し、計画的な土地利用や防災空間の確保、都市 施設等の安全性確保を進めるとともに、災害発 生の事前対策や災害発生時の応急活動、復旧・ 復興対策等を定めた計画です。	IV 安全で魅力ある都市を めざして (関連分野) 医療、教育、産業、国際、 ボランティア等
●かながわ産業活性化 計画 (1995年度策定)	経済構造の変革期の中で、活力ある地域経済の 実現に向けて、「新産業の創出環境の整備」、「既 存産業の高度化」、「地域の活力を生かした産業 の展開」の3つの基本方向とそれに基づく施策展 開等を定めた計画です。	V 活力ある地域経済をめ ざして
●かながわ農業活性化 計画 (1996年度策定)	輸入自由化など国際化に対応できる農業の育成 を基本に、自然とのふれあいや県土保全による 都市・環境への寄与等、県民の多様な期待に応 える農業を振興し、新鮮で安全な食料の安定供 給と快適な生活環境を実現するための基本方向 や施策展開等を定めた計画です。	V 活力ある地域経済をめ ざして

第2章 地域社会の政策

この章では、地域社会の政策について述べます。まず、地域社会の政策とは何か、その特徴や目的などを理解するための基礎知識を学びます。次に、神奈川県における主要な地域社会の政策である「かながわ森林づくり計画」、「かながわ海業推進計画」、「第6次神奈川県職業能力開発計画」、「新かながわ国際政策推進プラン」、「かながわ女性プラン21」について、それぞれの内容や目標などを詳しく解説します。

第2節 地域社会の政策

本節では、地域社会の政策について概要を学びます。

● かながわ森林づくり計画
● かながわ海業推進計画
● 第6次神奈川県職業能力開発計画
● 新かながわ国際政策推進プラン
● かながわ女性プラン21

個別計画名	概 要	総合計画での政策分野
●かながわ森林づくり計画 (1993年度策定・1996年度実施計画策定)	水源かん養や県土保全、生物多様性の確保など公益的機能の高い森林づくりの実現に向けて、水源の森林づくりや都市型林業の展開、森林とのふれあいなど、永続的な森林の保全と森林資源の持続的な活用のための基本方向や施策展開等を定めた計画です。	V活力ある地域経済をめざして
●かながわ海業推進計画 (1994年度策定・1996年度実施計画策定)	国際化の進展に伴う水産資源管理の強化、海や川でのレクリエーションの増加など、漁業を取り巻く環境変化を踏まえ、漁業を新たな産業－海業－として発展させるための基本方向や施策展開等を定めた計画です。	V活力ある地域経済をめざして
●第6次神奈川県職業能力開発計画 (1996年度改定)	雇用の安定を図るため、「新しい時代の技能者づくりの推進」、「人材育成ネットワークづくりの推進」、「技能文化社会づくりの推進」を目標に、働く一人ひとりの職業能力を高め、産業や社会の変化に対応できる人材の育成をめざす計画です。	V活力ある地域経済をめざして
●新かながわ国際政策推進プラン (1996年度改定)	多くの分野や地域で国際化が進み、相互依存関係が深まる中で、平和、環境、人権、貧困等地球規模の課題の解決に向けて、一人ひとりが地球にくらす一員として、連帯して取り組んでいくような地域社会づくりをめざす計画です。	VI平和な地球市民社会をめざして (関連分野) 教育、環境、産業、ボランティア等
●かながわ女性プラン21 (1996年度策定)	少子・高齢化の進展をはじめとする社会環境の変化の中、「男女共同参画社会の実現」を基本目標とし、女性も男性も性別により生き方が固定されることなく、人権と多様な選択が尊重される社会づくりをめざす計画です。	VII共に生きる参加型社会をめざして (関連分野) 福祉、教育、まちづくり、労働、国際等

3 財政収支の見通し

計画の実行可能性を確保するためには、財政的な裏付けが必要です。

本県の財政は、国家財政や我が国を取り巻く社会経済環境などと密接に関連しており、その見通しを的確に立てることは困難ですが、推計にあたっては、現行の税財政制度に基づいて、事業計画の5か年の計画期間について財政見通しを立てました。

●推計与件

今後の県内経済の見通し及び国等の各種経済指標などを参考として、経済成長率等の推計与件を次のとおり設定しました。

- ◇県内経済成長率 名目 年3%程度 実質 年2%程度
- ◇県税、地方交付税 現行制度及び税制改正の動向を踏まえ、経済成長率を勘案して見込む
- ◇国庫支出金 現行制度による
- ◇県債・企業債 1996年度の許可基準等による

●計画額の概要

事業計画の計画額は、今後5年間に県が実施する全ての施策・事業に係る概算です。

事業計画		(億円)	施策の重点的な取組み	(億円)
区分		計画額	区分	計画額
支 出	政策的事業 その他の事業	69,700 54,300	京浜臨海部再編整備構想 県央・湘南都市圏整備構想 県西地域活性化構想 水源地域総合保全整備構想 都市緑化ベルト整備構想	50 310 400 1,060 680
收 入	計(A) 県税、地方交付税 国庫支出金 県債・企業債 その他の収入	124,000 61,900 17,000 11,800 32,800	計	2,500
	計(B)	123,500	福祉社会の基盤づくり いきいき県民ライフの環境づくり 未来を拓く人づくり 環境共生・循環型都市づくり 新たなニーズと人をつなぐ産業基盤づくり 地域高度情報化の基盤づくり 共生社会に向けての環境づくり 地震災害に強い都市づくり	580 280 200 70 60 250 90 670
	**要調整額(B)-(A)	△500	計	2,200
		合計		
		4,700		

(*表中の「要調整額」の数字は、経済成長率の変化により影響を受けやすい本県の収入構造等から、「±500億円」位の幅で変動することが想定されます。)

(注1)「支出」の項の「政策的事業」とは、実行計画に記載された「主要施策」及び「関連する施策」を、「その他の事業」とは、公債費や維持管理費など、政策の遂行を支える事業をいいます。

(注2) 計画額の収入・支出の額は、一般会計と特別会計及び企業会計の単純合計で、各会計間での繰出・繰入額(1兆2,000億円)が含まれています。

(注3) 「施策の重点的な取組み」のうち、各項目間で再掲している事業については、主たる項目の計画額に含めています。

●今後の対応

今後の本県の財政収支見通しは非常に厳しい状況が続くものと思われます。

のことから、県自ら行政の徹底したスリム化を前提とし、中・長期的視点に立って、

○県税、地方交付税等の財源確保対策の推進

○一般会計の県債発行額は、歳入規模の10%以内になるよう県債依存体質を改善

○時代の変化に対応した既定事業の抜本的な見直し

○施策・事業への財源の充当を優先した内部管理的経費の徹底した節減

に取り組むとともに、さらに、行政と民間の役割分担を踏まえて、

○民間の創意や資金の活用など実施手法の工夫

に取り組みます。また、国に対しては、

○地方分権の推進、とくに地方税財政制度の抜本的な改革

を強く働きかけていきます。

こうした取組みを前提に、社会経済情勢の変化、県民ニーズ及び社会資本の整備水準等を的確にとらえ、費用対効果、優先順位を見極めながら、計画に位置づけた施策・事業の推進を図ります。

森林の聲

木と木の間で、木の音。木の音が、世界に響く。世界を木の音で満たす。木の音が、世界を木の音で満たす。

木の音が、世界を木の音で満たす。木の音が、世界を木の音で満たす。木の音が、世界を木の音で満たす。木の音が、世界を木の音で満たす。木の音が、世界を木の音で満たす。木の音が、世界を木の音で満たす。

木の音が、世界を木の音で満たす。木の音が、世界を木の音で満たす。

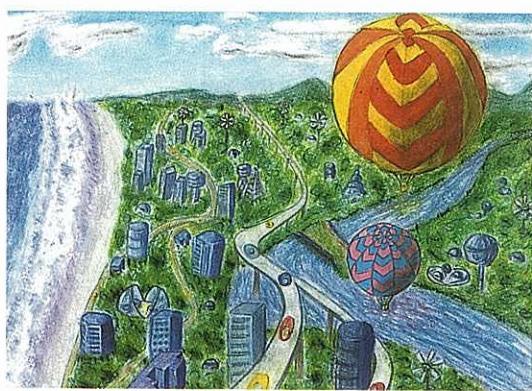
木の音が、世界を木の音で満たす。木の音が、世界を木の音で満たす。

木の音が、世界を木の音で満たす。木の音が、世界を木の音で満たす。

木の音が、世界を木の音で満たす。木の音が、世界を木の音で満たす。

木の音が、世界を木の音で満たす。木の音が、世界を木の音で満たす。

木の音が、世界を木の音で満たす。木の音が、世界を木の音で満たす。



水と緑の大地

緑と水にあふれ、風力で電気をおこしたり、石油ではなく風力や太陽電池で動く車などがあり、空気のきれいな町を想像してみました。

横浜市立舞岡中学校 第3学年

片山 亜華里（かたやま あかり）

（「21世紀（あす）の神奈川」絵と作文コンクールから）